

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	乳酸アルミニウム
住所	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6810-0241
ファックス番号	03-6810-0146
緊急連絡電話番号	03-6810-0242
整理番号	L03-04
推奨用途及び使用上の制限	医薬, 医薬部外品等

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

強い眼刺激
水生生物に有害

注意書き

安全対策

取扱後は手をよく洗うこと。
適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用 すること。
環境への放出を避けること。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	乳酸アルミニウム
別名 (英文名)	トリス (2-ヒドロキシプロパン酸) アルミニウム (Aluminum lactate)
組成物質	乳酸アルミニウム
濃度又は濃度範囲	98.5%以上
分子式 (分子量)	C ₉ H ₁₅ AlO ₉ (294.19)
化学特性 (示性式又は構造式)	(CH ₃ CH(OH)COO) ₃ Al
CAS登録番号 (CAS RN)	18917-91-4
官報公示整理番号 (化審法)	(2)-1376
TSCA	登録有り (ACTIVE)
EINECS	242-670-9
輸出統計品目	2918.11-900
輸入統計品目	2918.11-000

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに皮膚を多量の水で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特有の危険有害性	通常では着火しない。
特有の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具	消火活動時には必要に応じて適切な空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護メガネ、作業衣、ゴム手袋またはビニル手袋を着用する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	速やかに粉塵が飛散しない方法で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱い注意事項	吸湿性があるので湿気に注意して取り扱う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚との接触を避けること。
保管	安全な保管条件	遮光した密閉容器にて、常温で保管する。
	安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系、又はステンレス鋼

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH	未設定 未設定
設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。	
保護具	呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	物理状態	結晶性粉末
	色	白色
	臭い	においがいいか又は特異なにおいがあり、味はわずかに酸味があり、取れん性である。
融点・凝固点		融点/ 範囲: > 300 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点		無し
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH (1→11)		3.0~4.0
動粘性率		データなし
溶解度		水に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log値)		logP = -3.620
蒸気圧		データなし

密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他データ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データ無し
化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	データ無し
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	炭素酸化物, 酸化アルミニウム

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	LD50 値 > 2000 mg/kg（ラット） GHS分類：区分に該当しない。
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：気体）	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	GHS分類：区分2A
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
生殖毒性・授乳影響	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性（短期/急性）	GHS分類：区分3
	水生環境有害性（長期/慢性）	データなし
残留性・分解性		良分解性
生態蓄積性		データなし
土壌中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	該当しない
	国連輸送品名	該当しない
	国連分類	該当しない
	容器等級	該当しない
	海洋汚染物質	該当しない
国内規制	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	陸上規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針番号	輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。重量物を上積みしない。 該当しない
15. 適用法令		
医薬品医療機器等法 労働安全衛生法		日本薬局方外医薬品規格(2002)、医薬部外品原料規格(2006) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) No.37 (アルミニウム水溶性塩) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 (法第57条の3)
水質汚染防止法		指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) No.44 (アルミニウム及びその化合物)
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)		該当しない 該当しない
16. その他の情報		
引用文献	NITE-CHRIP: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 職場のあんぜんサイト: 厚生労働省 IPEC Japan: (社) 日本医薬品添加剤協会HP 有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会講談社サイエンティフィック 化学大辞典 共立出版 等	
免責事項:	記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。	